



母なる川を描く 最上川 V

2024 12月20日（金）－ 2025 3月30日（日）

酒田市松山文化伝承館 真下慶治記念室

〒999-6832 山形県酒田市字新屋敷 36-2 TEL 0234-62-2632 FAX 0234-62-2638 HP <http://matuyama-net.com>



酒田市松山文化伝承館 真下慶治記念室

母なる川を描く
最上川 V

会 期

2024 2025
12/20 (金) - 3/30 (日)



冬の山河 20F 1946 庄内町



冬の山河 12F 1960 庄内町



冬の最上川 10F 1990 庄内町

*表 部分 冬の河口付近 100M 1983 酒田市

*表 部分 眺梅の森から 80P 1992 酒田市 (旧松山町)

新館展示室

松山の神社・仏閣めぐり展 令和6年 12/20(金) - 2/9(日)

松山のお雛様とステンドグラス展 令和7年 2/14(金) - 3/30(日)

本館展示室

松山の歴史と文化 郷土の人物コーナー



冬の山河 30F 1963 庄内町

今年度は「原画展」を企画いたしました

出品画の大作をかくにあたり現場で描いた作品を原画とよんでいます

鉛筆デッサン・バスコンテ・水彩・号数も様々な原画があります

どこでも絵になるとはいいますがやはりこだわりが見えてきます

「冬の山河」は1946年終戦の翌年です

恩師 石井柏亭 は信州松本に疎開をします “国破れて山河あり” でしょう
梓川 を背景に「山河在り」を 1946年 一水会に 発表します

恩師の描いた 梓川と同じ様な場所を選び 真下も津谷駅から狩川駅に行き
田代山を背景に最上川を描き 終戦とし平和を願います

時代も経て技法も変わりますがほぼ同じ場所からの作品です

立川町は 合併して庄内町と変わり 描いた地点は「松尾芭蕉上陸の地」で
芭蕉一行はここから庄内に入ったのでしょうか

写実の技法から 1960年代 数年 モダンアート に変わりますが 写実にもどし
現場主義を生涯 貫き通した画家でした

令和 6年 戦後80年になろうとしてる今 コロナ渦・温暖化で海水温が上がり
気候変化の災害・ネット社会の便利さ・など日々変わってきました

美しい山や川は かわることはありません

ご高覧のほどよろしく願いいたします

2024.11 真下清美

〒999-6832 山形県酒田市字新屋敷 36-2 TEL 0234-62-2632 FAX 0234-62-2638

開館時間 9:00 ~ 16:30 休館日 月曜日 (但し祝日の場合は翌日) 12月29日 ~ 1月3日

入館料 一般・大学生 400円 高校 280円 / 小中学生 120円 団体 20名以上 一般・大学生 310円 高校 240円 / 小中学生 100円

E-mail densho@matuyama-net.com HP <http://matuyama-nat.com> HP 真下慶治 検索